

13 学校教育の充実

いのちを大切に  
する小田原  
子育て・教育

【目指す姿】

変化の激しい社会を乗り越える「生き抜く力」を身につけた子どもたちが、それぞれの未来を拓くために、たくましく生きています。

【現況と課題】

- ◆ 子どもたちの「生き抜く力」を育むためには、豊かな心、健やかな体、確かな学力をバランスよく育てることが必要です。
- ◆ 核家族化や少子化の進行、価値観やライフスタイルの多様化などにより、人と人とのつながりの希薄化が懸念されます。子どもたちは学校や家庭、地域のなかでさまざまな人から多くのことを学びながら成長しており、各学校がそれぞれの特性を生かし、地域ぐるみで子どもたちを見守り、育てていく仕組みを整えることが必要です。
- ◆ 学校施設の老朽化、ICT環境の進展など新たな教育ニーズへの対応、地域コミュニティの拠点としての役割を視野に入れた教育環境の整備が必要です。
- ◆ いじめや不登校などのさまざまな課題の解決を図るには、教職員が自らの力を伸ばすとともに、子どもたち一人ひとりを大切に、きめ細かな教育を進めることが必要です。

【基本方針】

生きる土台としての「確かな学力」、さまざまな人との関わりや体験活動などを通して得られる「豊かな心」、生涯を通して運動やスポーツに親しむことができる「健やかな体」の育成に努めます。

【詳細施策】

① 社会を生き抜く力を育む教育活動の推進

主体的・対話的で深い学びの充実により確かな学力を身につけるとともに、自ら考え判断し、表現する力を育みます。また、いのちを尊重し、思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を育むとともに、健康づくりや体力づくりを進め、たくましく社会を生き抜く力を育む教育活動を推進します。

② 小田原の地ならではの教育の推進

人や地域が持つ多様性を認め、伸ばし、生かしていくことを大切に、豊かな歴史・文化・自然に恵まれた小田原の資源を教育に生かし、小田原の地ならではの教育を推進します。

③ 地域とともにある学校づくりの推進

学校・家庭・地域が抱える課題を地域ぐるみで解決し、質の高い学校教育を実現するため、コミュニティ・スクールによる学校運営を拡大します。

関連する詳細施策  
12①スクールコミュニティの形成

④ きめ細かな教育体制の強化

人それぞれがもつ個性や多様性を認め、インクルーシブ教育の実現を目指し、児童生徒それぞれの教育ニーズに対応し、自立と社会参加を見据えながら、最適な指導を行うための多様で柔軟な仕組みづくりを進めます。また、幼稚園、保育所、小学校、中学校の一層の連携を進めます。

⑤ 安全・安心で快適な教育環境の整備

誰もが安全・安心で快適な環境の中で学ぶことができるよう、給食施設を含む学校施設の長寿命化を図るとともに、老朽化や新たな教育ニーズへの対応が求められる施設の整備と充実に努めます。また、校庭・園庭の芝生化についても引き続き取り組みます。

関連する詳細施策  
34②公共施設の最適化

【施策の指標】

指標名	指標名	単位	基準値（年）	目標値（年）
指標①	国語や算数・数学の授業がわからないと感じている児童生徒の割合	%	国語 21% 算数・数学 23% (平成 27 年度)	国語 10% 算数・数学 11% (平成 34 年度)
指標②	不登校児童生徒の出現率	%	小学校 0.78% 中学校 3.16% (平成 27 年度)	小学校 0.42% 中学校 2.83% (平成 34 年度)
指標③	新体力テストの総合評価が下位層（D・E層）の児童生徒の割合	%	小学校 35% 中学校 27% (平成 27 年度)	小学校 27% 中学校 21% (平成 34 年度)